

# 花き EDI 標準フォーマット仕様書 (Ver. 1.0)

平成 19 年 7 月

社団法人日本花き卸売市場協会

取引電子化部会



## 目 次

<b>1</b>	<b>概要</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>背景と目的</b>	<b>2</b>
<b>3</b>	<b>データの構造</b>	<b>3</b>
3.1	メッセージの種類	3
3.2	レコードの構成	3
3.3	文字コード	4
3.4	固定レコード長と可変レコード長	5
3.5	カンマ区切りでの文字表現	6
3.6	文字の前後のトリム	7
3.7	ヌル表現	7
3.8	数値表現	7
<b>4</b>	<b>メッセージ定義</b>	<b>9</b>
4.1	フィールドの構成	9
4.2	妥当性検査	9
4.3	メッセージの訂正と取消	9
<b>5</b>	<b>標準コード</b>	<b>18</b>
5.1	卸売会社コード	18
5.2	系統 JA コード	18
5.3	JF コード (品目コード、品種コード)	18
5.4	等階級コード	19
5.5	原産地コード	19
<b>6</b>	<b>独自コード</b>	<b>24</b>
6.1	出荷者コード	24
6.2	その他の独自コード (拡張項目)	24

**表 索引**

表 1	メッセージの種別.....	3
表 2	レコードの種別.....	3
表 3	メッセージ取扱の種別.....	9
表 4	出荷情報メッセージ.....	11
表 5	仕切情報メッセージ.....	14
表 6	データ型表.....	17
表 7	エラーコード表.....	17
表 8	JF 品目コード表 (1/2) .....	20
表 9	JF 品目コード表 (2/2) .....	21
表 10	標準等級コード表.....	22
表 11	標準階級コード表.....	22
表 12	原産地コード表 (1/2) (都道府県コード) .....	23
表 13	原産地コード表 (2/2) (国名コード、和名 50 音順) .....	23

**図 索引**

図 1	出荷情報メッセージのレコード構成の例.....	3
図 2	複数のメッセージを含むデータファイルの例.....	4
図 3	ダブルクォーテーション保護の例.....	6
図 4	ダブルクォーテーションエスケープの例.....	6

## 1 概要

この仕様書は、花き出荷者と花き卸売会社の間で電子情報を交換（EDI）する際に用いる標準フォーマットを定めています。

互いに電子情報を交換しようとする花き出荷者と花き卸売会社は、この仕様書の定めるところに従い、電子情報を取り扱う必要があります。

EDI: Electronic Data Interchange（電子情報交換）

## 2 背景と目的

事務処理にコンピュータの利用が当然となった現代において、企業活動にかかわる情報を電子化して、複数企業のコンピュータ同士で通信・交換することは、各企業の事務作業の削減に大いに役立ちます。

花き流通業界においても、1990 年代のフローラシステムから始まり、現在はフロリスネットにいたる系統 JA 標準の EDI が実用化されています。また、これとは別に、一部の出荷者では、取引関係のある卸売会社との間で、個別に通信仕様を定め、EDI 化を進めている例も見受けられます。

しかし、どちらも、花き業界全体に EDI を普及させるには不足があるといわざるを得ません。前者のフロリスネットは、系統 JA の県連・県本部レベルが主体となって整備してきたもので、組織的な出荷体制を組む比較的出荷規模の大きい JA 向けです。後者の個別 EDI は、当事者同士の取り決めだけで済むので個人出荷者や中小卸売会社でも気軽に始められる利点がありますが、個別であるがゆえに、多数の出荷者もしくは多数の卸売会社と情報交換できないのが難点です。

社団法人日本花き卸売市場協会では、上記の課題に対応するため、取引電子化部会を設けて、花き業界に携わる誰にとっても使いやすかつ導入しやすい EDI のあり方を検討してきました。そしてこのたび、平易な情報技術だけで導入可能な花き EDI 標準フォーマットを策定するに至りました。この花き EDI 標準フォーマットの策定により、特に小規模な出荷者と卸売会社の間での EDI 化が一層進展し、花き業界全体の生産性が向上することが大きく期待されます。

### 3 データの構造

#### 3.1 メッセージの種類

花き出荷者と花き卸売会社の間でやり取りされる情報のうち、下表に掲げる2つについて標準フォーマットを定めています。

表1 メッセージの種別

メッセージ種別	情報の内容	メッセージ種別番号
出荷情報	生産者から卸売会社へ出荷される商品の詳細情報	2
仕切情報	卸売会社が生産者から委託された、または買い付けた取引の詳細情報	3

#### 3.2 レコードの構成

出荷情報も仕切情報も、1つのメッセージは必ず下表に掲げる3種のレコードで構成されます。フロリスネットと同じ考え方です。

表2 レコードの種別

レコード種別	情報の内容	レコード種別番号
ヘッダ	このメッセージ全体にかかわる識別情報	1
明細	このメッセージの内容を示す商品などの明細(複数行も可)	2
トレーラ	このメッセージ全体の合計数値など	3

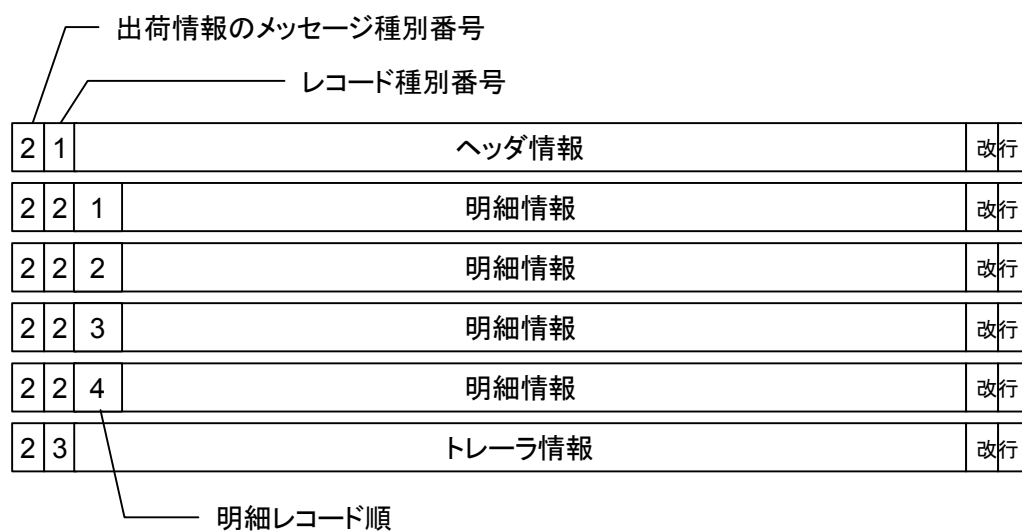


図1 出荷情報メッセージのレコード構成の例

ひとつのメッセージは、必ずヘッダレコードで始まり、トレーラレコードで終わります。明細レコードは、最低で 1 行は必要ですが、それ以上でもかまいません。1 組のヘッダレコードとトレーラレコードで挟まれた明細レコードの明細レコード番号は、必ず 1 から始まる連番でなければなりません。

図 2 のように、1 つのデータファイルの中に複数のメッセージをまとめて格納することもできます。

2	1	ヘッダ情報	改行	}	1 回目の出荷情報メッセージ	
2	2	1	明細情報			改行
2	2	2	明細情報			改行
2	2	3	明細情報			改行
2	2	4	明細情報			改行
2	3	トレーラ情報	改行	}	2 回目の出荷情報メッセージ	
2	1	ヘッダ情報	改行			
2	2	1	明細情報			改行
2	2	2	明細情報	改行	}	3 回目の出荷情報メッセージ
2	3	トレーラ情報	改行			
2	1	ヘッダ情報	改行			
2	2	1	明細情報	改行		
2	2	2	明細情報	改行	}	
2	2	3	明細情報	改行		
2	3	トレーラ情報	改行			

図 2 複数のメッセージを含むデータファイルの例

### 3.3 文字コード

#### (1) 文字コード

花き EDI 標準フォーマットのメッセージ中に日本語文字を含める場合、その文字コードはシフト JIS コードに限ります。シフト JIS コードは、Microsoft Windows の日本語版で使用される最も一般的な 2 バイト文字コードです。

使用できる漢字は、JIS 第一水準と JIS 第二水準とします。

パソコンでない一部のコンピュータで使われる JIS コードや EUC コード、コンピュータメーカー独自の IBM 漢字コードや富士通漢字コードは使えません。また、最新のパソコンの一部で使われることがある Unicode (UTF) コードも使えません。これらのコードのデータは、シフト JIS コードに変換した上で、EDI メッセージを作成してください。

シフト JIS コードの中の一部にも機種依存コード（「①」「②」など）がありますが、Microsoft Windows の日本語版で正しく扱われる文字は許容するものとします。

#### (2) 改行コード

各レコードの終わりには改行コードを付す必要がありますが、改行コードは「CR」コードと「LF」コードの 2 バイトとします。「CR」コード、「LF」コードは、

それぞれ 16 進数表記で 0x0d、0x0a です。改行を「CR」と「LF」の 2 バイトで表すことは、シフト JIS コード同様、多くのパソコンで一般的なものです。

Unix 系の OS を使用する一部のコンピュータでは、改行コードが「LF」(0x0a) の 1 バイトだけのことがあるので注意が必要です。

### 3.4 固定レコード長と可変レコード長

#### (1) 固定レコード長と可変レコード長の両対応

花き EDI 標準フォーマットは固定レコード長方式と可変レコード長方式の両方に対応しています。それぞれ一長一短があるので、どちらの方式も標準として採用されています。花き業界内のあらゆる相手との EDI を実現したければ、両方式に対応した送受信プログラムを用意しなければなりません。

ただし、1 メッセージ内で両方式を混在させてはいけません。

どのメッセージ種類でも、ヘッダレコードの最初の 2 バイトを見れば、そのメッセージがどちらの方式なのかを判別することができます。

#### (2) 固定レコード長方式

固定レコード長方式では、メッセージデータ内の各レコードのバイト数がすべて同じになっています。レコード内の各フィールド位置が固定されているので、情報を読み取りやすい利点があります。その一方で、使用しないフィールドを半角スペース文字 (16 進表記 0x20) で埋めなければならないので、メッセージ全体の容量が大きくなりがちです。

固定レコード長方式では、出荷情報メッセージ、仕切情報メッセージどちらも、1 レコードあたり、情報フィールド 510 バイト+改行 2 バイト=512 バイトです。

ヘッダレコードの 1 バイト目は「メッセージ種別番号」で、2 バイト目は「1」(=レコード種別番号) になっているはずですが。

#### (3) 可変レコード長方式 (カンマ区切り)

可変レコード長方式では、フィールドごとに半角カンマ文字で区切るカンマ区切り CSV 形式 (CSV: Comma Separated Values) を使用します。不要なフィールドや桁をスキップできるので、レコード全体のバイト数が変化し、多くの場合においてメッセージ全体の容量は小さくなります。しかし、フィールドの位置が変化するので、半角カンマ文字で切り分けてからでないと情報を読み取ることができません。

すべてのフィールドのあとに区切りの半角カンマをつけてください。ただし、各レコードの最後のフィールドのあとは、区切りの半角カンマをつけずに改行でなければなりません。レコード内の区切りの半角カンマの数は、そのレコード内のフィールドの数よりひとつ少なくなるはずですが。

ヘッダレコードの 1 バイト目は「メッセージ種別番号」で、2 バイト目は「,」(=区切りの半角カンマ) になっているはずですが。

可変レコード長方式には、カンマ区切り以外の形式もありますが、現在のところ、

花き EDI 標準フォーマットでは採用されていません。XML 形式などは次期バージョン以降で開発されていく予定です。

### 3.5 カンマ区切りでの文字表現

カンマ区切りでは、数値フィールドと文字フィールドの扱いを厳密に区別する必要があります。メッセージ定義のフィールドごとにデータ型が定義されているので、それに従ってください。

文字データは、フィールドの値の先頭と末尾を「"」（＝半角ダブルクォーテーション）で括らなければなりません。これにより、文字フィールドの内容に半角カンマが含まれていても、意図しない区切りを防ぐことができます。これをダブルクォーテーション保護と呼びます。

たとえ文字フィールドの内容に半角カンマがない場合であっても、文字フィールドはダブルクォーテーション保護が必須です。

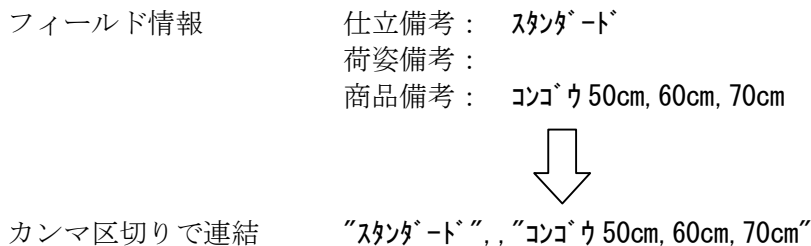


図3 ダブルクォーテーション保護の例

読み出す側は、文字フィールドを読み出す際、半角ダブルクォーテーションで挟まれている範囲をひとつのフィールドと見なさなければなりません。半角ダブルクォーテーションで挟まれている範囲にある半角カンマは、区切りの半角カンマではありません。

ダブルクォーテーション保護下では、フィールド情報に半角ダブルクォーテーションが含まれている場合に、特別な注意が必要となります。文字フィールドに半角ダブルクォーテーションを含めたい場合は、もう 1 バイト繰り返し重複させる必要があります。これをダブルクォーテーションエスケープと呼びます。

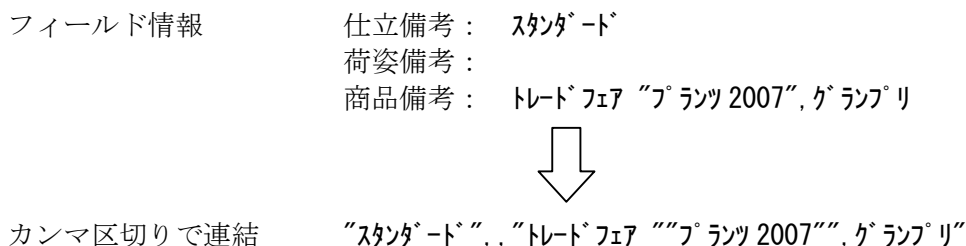


図4 ダブルクォーテーションエスケープの例

読み出す側は、文字フィールドを先頭から走査して末尾の半角ダブルクォーテーションを探しますが、それが2バイト連続していたら、さらに先を探さなければなりません。また、その際、2バイト連続している半角ダブルクォーテーションは1バイトに切り落とさなければなりません。2バイト連続の半角ダブルクォーテーションは、保護のための半角ダブルクォーテーションではありません。

一方、数値フィールドは、ダブルクォーテーション保護をしてはいけません。

### 3.6 文字の前後のトリム

文字フィールドを読み出す際、そのフィールドの先頭から続く半角スペース (16進表記 0x20) と全角スペース (16進表記 0x8140)、および末尾から遡る半角スペースと全角スペースは切り落とすこととします (トリム)。半角スペースと全角スペースが混在している場合も、それらすべてを前後からトリムします。

これは、もともと、固定レコード長方式の文字フィールドにおいて、実際に必要な文字の値の後方に続く無意味な空白を取り除く目的がありますが、後方だけでなく前方にも適用し、さらに可変レコード長方式にも適用しようというものです。

このルールの適用により、スペース文字だけの文字フィールドは全桁切り落とされ、ヌル (空) と扱われます。したがって、可変レコード長方式においてスペース文字ばかりの文字フィールドは、スキップされているのと同等になります。

### 3.7 ヌル表現

必須でないフィールドで、そこに値を持たせたくない場合は、ヌル (空) とします。

ヌル表現は、固定レコード長方式と可変レコード長方式では異なります。

固定レコード長方式の場合は、桁位置が決められているためフィールドをスキップすることができませんから、以下の場合をヌル表現とします。

- ① 数値フィールドが全桁0で埋まっていること。
- ② 文字フィールドが全桁半角スペース (16進表記 0x20) または全角スペース (16進表記 0x8140) で埋まっていること。両者の混在も同様。

可変レコード長方式の場合は、単に半角カンマを連続させれば、そのフィールドをスキップすることができるので、それをもってヌル表現とします。スキップされていなくても、3.6項のトリムによりヌルになることもあります。

必須のフィールドではヌルは許されません。数値の0は、必須フィールドではヌルではなく0の意味を持ちます。しかし、スペース文字だけの文字フィールドはトリムされてヌルになるので、必須フィールドではエラーになります。

### 3.8 数値表現

固定レコード長方式で、数量や金額など、数値しか許されないフィールドの扱いは、以下のようになっています。

- ① 符号つき数値フィールドの場合は、先頭 (最上位) の桁は符号「+」「-」の

どちらかでなければならず、残りの桁は「0」から「9」までの数字でなければなりません。0は例外で、全桁0で表すこととします。

符号なし数値フィールドの場合は、すべての桁が「0」から「9」までの数字でなければなりません。

- ② 符号ありなしにかかわらず、小数值の場合は上記のほかに小数点がひとつだけ許され、その桁位置は任意です。
- ③ 数値はフィールド内で右詰めされ、上位桁は「0」で埋められていなければなりません。スペース文字は許されません。

可変レコード長方式では、右詰めや0埋めは不要です（右詰め概念自体がありません）。可変レコード長方式でも、符号つき数値フィールドには、0でない限り、先頭に符号「+」「-」が必要です。数値フィールドは、ダブルクォーテーション保護をしてはいけません。

## 4 メッセージ定義

### 4.1 フィールドの構成

出荷情報メッセージを表 4 に、仕切情報メッセージを表 5 に示します。

メッセージ定義は、固定レコード長方式と可変レコード長方式に共通です。ただし、表中の開始位置は固定レコード長方式でだけ使用します。

### 4.2 妥当性検査

各フィールドは、表に示された妥当性検査を受けます。

各フィールドのデータ型によって、使用できる文字種や符号の有無が異なりますので、注意深くメッセージデータを作成してください。

固定レコード長方式における数値データ型の前 0 埋め (3.8 項) や、可変レコード長方式における文字データ型のダブルクォーテーション保護 (3.5 項) も参考にしてください。

### 4.3 メッセージの訂正と取消

すでに発信してしまったメッセージに対し、何らかの事情で訂正あるいは取消が必要になることがあります。花き EDI 標準フォーマットでは、次の 3 通りの方法で訂正や取消を伝達することを想定しています。

どの方法を取るかは、相手との協議の上で決定してください。

#### (1) メッセージ取扱種別での指定

訂正または取消が必要となったことを伝達するために、下表に掲げる 3 つの取扱種別があります。

表 3 メッセージ取扱の種別

メッセージ取扱種別	取り扱い方	メッセージ取扱種別番号
通常	通常メッセージ	0
訂正	すでに発信したメッセージを訂正する場合 以前のメッセージは、この新しいメッセージで置き換える(上書き)	1
取消	すでに発信したメッセージを全く取り消す場合 以前のメッセージは削除する	2

訂正メッセージと取消メッセージでは、以前のどのメッセージを訂正あるいは取消しようとするのが特定できなければなりません。そのためのキーは、出荷情報では出荷日と送り状番号、仕切情報では販売日と仕切書番号、です。これらを、それぞれ元出荷日と元送り状番号あるいは元販売日と元仕切書番号のフィールドに収めておかなければなりません。訂正あるいは取消の対象となるメッセージを特定できなかった場合はエラーになります。

訂正メッセージの各フィールドには、訂正後の新しい内容をすべて記述します。  
取消メッセージの各フィールドには、取消対象とするメッセージと全く同じ内容を記述します。

### (2) 全赤伝／全黒伝

訂正の際、訂正メッセージを発信するのではなく、以前のメッセージと内容は同じで口数や金額などの符号だけを反転させた全赤伝（全行赤伝票）メッセージと、訂正後の新たな内容をすべて記述した全黒伝（全行黒伝票）メッセージという2つのメッセージで伝達する方法です。系統 JA 向けの仕切情報では、この方法がよく要望されます。

出荷情報の全赤伝は、口数の数値の符号を反転（マイナス）させます。それにもない、数量などの数値の符号も計算により反転します。

仕切情報の全赤伝は、口数と仕切金額の数値の符号を反転（マイナス）させます。それにもない、数量や委託手数料などの数値の符号も計算により反転します。単価の符号は計算により反転しません。

全赤伝メッセージも全黒伝メッセージも、メッセージ取扱種別は「通常」のままとします。すなわち、メッセージ取扱種別は事実上使用しません。

全赤伝メッセージにより、以前のメッセージは実質的にまるごと打ち消されるので、引き続きなにごとにもなかったかのように、新たなメッセージ（全黒伝）を発信します。

メッセージ取扱種別を指定する場合と異なり、以前のメッセージを特定できなくてもエラーにはなりません。元出荷日と元送り状番号あるいは元販売日と元仕切書番号のフィールドは入力されていることが望ましいです。

### (3) 部分赤黒伝

訂正の際、訂正メッセージを発信するのではなく、以前のメッセージと比較して変化のある行だけに注目し、口数や金額などの符号を反転させた行と訂正後の新たな内容を記述した行を1つのメッセージにまとめた部分赤黒伝メッセージで伝達する方法です。必要最小限で済む実際的な方法です。

符号の反転と計算の考え方は、全赤／全黒の場合と同じです。訂正されるべき行だけを対象とする点と、赤行と黒行を1メッセージに含めてしまう点が、全赤／全黒の場合と異なります。

部分赤黒伝メッセージのメッセージ取扱種別は「通常」のままとします。すなわち、メッセージ取扱種別は事実上使用しません。

メッセージ取扱種別を指定する場合と異なり、以前のメッセージを特定できなくてもエラーにはなりません。元出荷日と元送り状番号あるいは元販売日と元仕切書番号のフィールドは入力されていることが望ましいです。

表4 出荷情報メッセージ (1/3)

項番	階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	開始位置	最大バイト数	必須項目	妥当性検査 ([])内はエラーコード)
2101			メッセージ種別	メッセージの種類を表す 固定 *2: 出荷情報メッセージ		数値U	0	1	必須	*2 以外エラー[001]
2102			レコード種別	レコードの種類を表す 固定 *1: ヘッドレコード		数値U	1	1	必須	*1 以外エラー[002]
2103			メッセージバージョン	メッセージ定義のバージョン番号 固定 *10: バージョン1.0		数値U	2	3	必須	*10 以外エラー[009]
2104		識別項目	メッセージ取扱種別	メッセージの取り扱い方の指定 *0: 通常 *1: 訂正 *2: 取消		数値U	5	1	必須	*0,1,2 以外エラー[009]
2105			出荷日	出荷者が出荷する日 YYYYMMDD		文字D	6	8	必須	*データ投入日前後1ヶ月以外エラー[010]
2106			送り状番号	出荷者が採番する送り状を識別する番号		文字H	14	11		*指定がある場合に、同一出荷日の重複番号はエラー[020]
2107			元出荷日	訂正・取消する場合の元出荷日 YYYYMMDD		文字D	25	8		
2108			元送り状番号	訂正・取消する場合の元送り状番号 切花、鉢物、苗木等を表す区分		文字H	33	11		
2109			商品区分	*0: 切花、切枝、切葉 *1: 鉢物、苗木 *2: 植木		数値U	44	1		*0,1,2 以外エラー[009]
2110		代表項目	代表品目名	代表品目の名称		文字Z	45	30		
2111			販売日	卸売会社が販売する日 YYYYMMDD		文字D	75	8		*指定がある場合は、出荷日より過去はエラー[010]
2112			卸売会社コード1	卸売会社を表すコード	フロリスネット	文字S	83	6	選択必須	*フロリスネットが規定する卸売会社コード以外エラー[012] *卸売会社コード1、卸売会社コード2のどちらも指定がない場合エラー[006] *卸売会社コード1、卸売会社コード2のどちらも指定がない場合エラー[006]
2113			卸売会社コード2	卸売会社を表すコード	各出荷者独自	文字H	89	7		
2114			卸売会社名	卸売会社の名称		文字Z	96	50	必須	
2115			県連コード	出荷者の県連を表すコード	フロリスネット	文字S	146	7		*県連・農協コードの組合せ、出荷者コードのどちらも指定がない場合エラー[006]
2116			農協コード	出荷者の農協等を表すコード		文字S	153	10	選択必須	
2117			出荷者コード	出荷者を表すコード	各卸売会社独自	文字H	163	18		*県連・農協コードの組合せ、出荷者コードのどちらも指定がない場合エラー[006]
2118			出荷者名	出荷者の名称		文字Z	181	50	必須	
2119			出荷情報備考	出荷情報に対する備考		文字Z	231	50		
2120			予備	予備			281	229		
2121			改行	CRLF			510	2		
2201		識別項目	メッセージ種別	メッセージの種類を表す 固定 *2: 出荷情報メッセージ		数値U	0	1	必須	*2 以外エラー[001]
2202			レコード種別	レコードの種類を表す 固定 *2: 明細レコード		数値U	1	1	必須	*2 以外エラー[002]
2203			明細レコード番号	出荷情報メッセージ内の明細レコード番号		数値U	2	3	必須	
2204			荷印	出荷者の荷印		文字H	5	8		
2205			形態コード	形態を表す標準コード	JFコード	文字S	13	2		
2206			形態名	形態の名称		文字Z	15	20		
2207			品目コード	品目を表す標準コード	JFコード	文字S	35	5		
2208			品目名	品目の名称		文字Z	40	30		
2209			品種コード	品種を表す標準コード *JFコードの5桁の先頭に00を付加	JFコード	文字S	70	7		
2210			商品名	商品の名称、特にない場合は品種の名称		文字Z	77	50	必須	

表4 出荷情報メッセージ (2/3)

階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	開始位置	最大バイト数	必須項目	妥当性検査 ( []内はエラーコード)
2211		等級コード	等級(品質)を表す標準コード	市場協会新設	文字S	127	3		
2212		等級名	等級(品質)の名称		文字Z	130	20		
2213		階級コード	階級(専文)を表す標準コード	市場協会新設	文字S	150	3		
2214		階級名	階級(専文)の名称		文字Z	153	20		
2215		原産地コード	原産地の国・県を表すコード ・国内: JIS都道府県コードの2桁の先頭に0を付加 ・国外: JISのアルファベット3文字コード	JIS	文字H	173	3		
2216		原産地名	原産地の国・県の名称 ・国内: 県名 ・国外: 国名		文字Z	176	20		
2217	商品項目	鉢サイズ	鉢物の容器のサイズ号数(寸)		数値UF	196	4	鉢物時必須	・商品区分が鉢物・苗物時、指定なしエラー[006] ・小数点以下が2桁以上はエラー[009]
2218		輪数	商品の輪数(1本、1鉢または1口あたりの花の数) ・99または、99-99		文字SK	200	5		
2219		立本数	商品の立数 ・99または、99-99		文字SK	205	5		
2220		入数	1口あたりの入り本数・入り鉢数		数値U	210	4	必須	・0はエラー[008]
2221		口数	ケースや鉢等商品が流通する単位での数量		数値S	214	6	必須	・0はエラー[008]
2222		数量	商品の総数量(総本数・総鉢数) 総数=入数×口数		数値S	220	8	必須	・入数×口数の値以外エラー[011] ・0はエラー[008]
2223	明細	鉢種備考	鉢の種類を表す文字表記		文字Z	228	20		
2224		仕立備考	仕立を表す文字表記		文字Z	248	20		
2225		荷姿備考	荷姿を表す文字表記		文字Z	268	20		
2226		商品備考	商品に対する備考		文字Z	288	50		
2227		取引区分	委託・買付を表す区分 ・0: 委託 ・1: 買付		数値U	338	1	必須	・0.1以外エラー[009]
2228	取引項目	買付単価	買付時の単価(税抜)、円未満切捨て		数値S	339	7		
2229		買付単価単位	買付単価に含まれる数量(本数・鉢数)		数値U	346	4		・0はエラー[008]
2230		注文単価	注文時の単価(税抜)、円未満切捨て		数値S	350	7		
2231		注文単価単位	注文単価に含まれる数量(本数・鉢数)		数値U	357	4		・0はエラー[008]
2232		注文備考	注文を識別する番号、買受人番号などの備考		文字Z	361	20		
2233	拡張項目	卸売会社品目コード	卸売会社が規定する品目コード	各卸売会社独自	文字H	381	7		
2234		卸売会社品種コード	卸売会社が規定する品種コード	各卸売会社独自	文字H	388	7		
2235		卸売会社等級コード	卸売会社が規定する等級コード	各卸売会社独自	文字H	395	3		
2236		卸売会社階級コード	卸売会社が規定する階級コード	各卸売会社独自	文字H	398	3		
2237		卸売会社原産地コード	卸売会社が規定する原産地(国・県)を表すコード	各卸売会社独自	文字H	401	3		
2238		出荷者品目コード	出荷者が規定する品目コード	各出荷者独自	文字H	404	7		
2239		出荷者品種コード	出荷者が規定する品種コード	各出荷者独自	文字H	411	7		
2240		出荷者等級コード	出荷者が規定する等級コード	各出荷者独自	文字H	418	3		
2241		出荷者階級コード	出荷者が規定する階級コード	各出荷者独自	文字H	421	3		
2242		出荷者原産地コード	出荷者が規定する原産地(国・県)を表すコード	各出荷者独自	文字H	424	3		
2243		予備	予備			427	83		
2244		改行	CRLF			510	2		

表 4 出荷情報メッセージ (3/3)

項番	階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	開始位置	最大バイト数	必須項目	妥当性検査 ( []内はエラーコード)
2301		識別項目	メッセージ種別	メッセージの種別を表す 固定 ・2:出荷情報メッセージ		数値U	0	1	必須	・2 以外エラー-[001]
2302		項目	レコード種別	レコードの種別を表す 固定 ・3:トレースレコード		数値U	1	1	必須	・3 以外エラー-[002]
2303		集計項目	梱包数計	運費計算の基礎となる梱包数の合計		数値S	2	6		
2304		項目	口数計	明細レコードの口数の合計		数値S	8	6	必須	・明細レコードの口数の合計値以外エラー-[013]
2305		項目	数量計	明細レコードの数量の合計		数値S	14	8	必須	・明細レコードの数量の合計値以外エラー-[013]
2306			予備	予備			22	488		
2307			改行	CRLF			510	2		

・必須項目が欠けている場合は、必須項目エラー-[005]  
 ・可変レコード長で、最大バイト数を超えた項目は、項目長エラー-[014]  
 ・固定レコード長で、レコード長が合わない場合は、レコード長エラー-[015]  
 ・可変レコード長で、項目数が合わない場合は、項目数エラー-[016]  
 ・レコードの並びが、ヘッダ・明細・トレースでない場合は、データ構成エラー-[017]  
 ・明細レコードが明細レコード番号順でない場合は、明細順序エラー-[018]  
 ・メッセージ取扱種別が訂正または取消の場合に、訂正・取消対象となるデータが見つからない場合は、対象データなしエラー-[019]

表5 仕切情報メッセージ (1/3)

項番	階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	開始位置	最大バイト数	必須項目	妥当性検査 ([])内はエラーコード)
3101			メッセージ種別	メッセージの種類を表す 固定 ・3:仕切情報メッセージ		数値U	0	1	必須	・3 以外エラー[001]
3102			レコード種別	レコードの種類を表す 固定 ・1:ヘッダレコード		数値U	1	1	必須	・1 以外エラー[002]
3103			メッセージバージョン	メッセージ定義のバージョン番号 固定 ・10:バージョン1.0		数値U	2	3	必須	・10 以外エラー[009]
3104			メッセージ取扱種別	メッセージの取り扱い方の指定 ・0:通常 ・1:訂正 ・2:取消		数値U	5	1	必須	・0,1,2 以外エラー[009]
3105			販売日	卸売会社が販売した日 YYYYMMDD		文字D	6	8	必須	・データ投入日前後1ヶ月以外エラー[010]
3106			仕切書番号	卸売会社が採番する仕切書を識別する番号		文字H	14	11		・指定がある場合に、同一販売日の重複番号はエラー[020]
3107			元販売日	訂正・取消する場合の元販売日 YYYYMMDD		文字D	25	8		
3108			元仕切書番号	訂正・取消する場合の元仕切書番号		文字H	33	11		
3109			送状番号	商品が記載されていた送状を識別する番号		文字H	44	11		
3110			商品区分	切花、鉢物、苗木等を表す区分 ・0:切花、切枝、切葉 ・1:鉢物、苗木 ・2:樺木		数値U	55	1		・0,1,2 以外エラー[009]
3111			代表品目名	代表品目の名称		文字Z	56	30		
3112			出荷日	出荷者が出荷した日 YYYYMMDD		文字D	86	8		・指定がある場合は、販売日より未来はエラー[010]
3113			卸売会社コード1	卸売会社を表すコード	フロリスネット	文字S	94	6	選択必須	・フロリスネットが規定する卸売会社コード以外エラー[012] ・卸売会社コード1、卸売会社コード2のどちらも指定がない場合エラー[006] ・卸売会社コード1、卸売会社コード2のどちらも指定がない場合エラー[006]
3114			卸売会社コード2	卸売会社を表すコード	各出荷者独自	文字H	100	7	必須	
3115			卸売会社名	卸売会社の名称		文字Z	107	50	必須	
3116			県連コード	出荷者の県連等を表すコード	フロリスネット	文字S	157	7		
3117			農協コード	出荷者の農協等を表すコード		文字S	164	10	選択必須	
3118			出荷者コード	出荷者を表すコード	各卸売会社独自	文字H	174	18		・県連・農協コードの組合せ、出荷者コードのどちらも指定がない場合エラー[006]
3119			出荷者名	出荷者の名称		文字Z	192	50	必須	・県連・農協コードの組合せ、出荷者コードのどちらも指定がない場合エラー[006]
3120			仕切情報備考	仕切情報に対する備考		文字Z	242	50		
3121			予備	予備			292	218		
3122			改行	CRLF			510	2		
3201			メッセージ種別	メッセージの種類を表す 固定 ・3:仕切情報メッセージ		数値U	0	1	必須	・3 以外エラー[001]
3202			レコード種別	レコードの種類を表す 固定 ・2:明細レコード		数値U	1	1	必須	・2 以外エラー[002]
3203			明細レコード番号	仕切情報メッセージ内の明細レコード番号		数値U	2	3	必須	
3204			荷印	出荷者の荷印		文字H	5	8		
3205			形態コード	形態を表す標準コード	JFコード	文字S	13	2		
3206			形態名	形態の名称		文字Z	15	20		
3207			品目を表す標準コード	品目を表す標準コード	JFコード	文字S	35	5		
3208			品目名	品目の名称		文字Z	40	30		
3209			品種コード	品種を表す標準コード ・JFコードの5桁の先頭に00を付加	JFコード	文字S	70	7		

表5 仕切情報メッセージ (2/3)

項番	階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	開始位置	最大バイト数	必須項目	妥当性検査 ( []内はエラーコード)
3210			商品名	商品の名称、特にならぬ場合は品種の名称		文字Z	77	50	必須	
3211			等級コード	等級(品質)を表す標準コード	市場協会新設	文字S	127	3		
3212			等級名	等級(品質)の名称		文字Z	130	20		
3213			階級コード	階級(草丈)を表す標準コード	市場協会新設	文字S	150	3		
3214			階級名	階級(草丈)の名称		文字Z	153	20		
3215			原産地コード	原産地の国・県を表すコード ・国内: JIS都道府県コードの2桁の先頭に0を付加 ・国外: JISのアルファベット3文字コード	JIS	文字H	173	3		
3216			原産地名	原産地の国・県の名称 ・国内: 県名 ・国外: 国名		文字Z	176	20		
3217			鉢サイズ	鉢物の容器のサイズ数(寸)		数値UF	196	4	鉢物時必須	・商品区分が鉢物・苗木時、指定なしエラー-[006] ・小数点以下が2桁以上はエラー-[009]
3218			輪数	商品の輪数(1本、1鉢または1口あたりの花の数) ・99または、99-99		文字SK	200	5		
3219			立本数	商品の立数 ・99または、99-99		文字SK	205	5		
3220			入数	1口あたりの入り本数・入り鉢数		数値U	210	4	必須	-0 はエラー-[008]
3221			口数	ケースや鉢等商品が流通する単位での数量		数値S	214	6	必須	-0 はエラー-[008]
3222			数量	商品の総数量(総本数・総鉢数) 総数=入数×口数		数値S	220	8	必須	・入数×口数の値以外エラー-[011] -0 はエラー-[008]
3223			鉢種備考	鉢の種類を表す文字表記		文字Z	228	20		
3224			仕立備考	仕立を表す文字表記		文字Z	248	20		
3225			荷姿備考	荷姿を表す文字表記		文字Z	268	20		
3226			商品備考	商品に対する備考		文字Z	288	50		
3227			取引区分	委託・買付を表す区分 ・0: 委託 ・1: 買付		数値U	338	1	必須	-0.1 以外エラー-[009]
3228			仕切金額	仕切金額(税抜) ・取引区分が"委託"の場合は、販売金額 ・取引区分が"買付"の場合は、買付金額		数値S	339	10	必須	
3229			仕切単価	仕切単価=仕切金額÷(数量×仕切単価単位)		数値S	349	7		
3230			仕切単価単位	仕切単価に含まれる数量(本数・鉢数)		数値U	356	4		-0 はエラー-[008]
3231			注文単価	注文時の単価(税抜)、円未満切捨て		数値S	360	7		
3232			注文単価単位	注文単価に含まれる数量(本数・鉢数)		数値U	367	4		-0 はエラー-[008]
3233			注文備考	注文を識別する番号、買受人番号などの備考		文字Z	371	20		
3234			集荷運賃点数	集荷時の運賃点数		数値SF	391	6		
3235			集荷運賃	集荷時の運賃		数値S	397	10		
3236			卸売会社品目コード	卸売会社が規定する品目コード	各卸売会社独自	文字H	407	7		
3237			卸売会社品種コード	卸売会社が規定する品種コード	各卸売会社独自	文字H	414	7		
3238			卸売会社等級コード	卸売会社が規定する等級コード	各卸売会社独自	文字H	421	3		
3239			卸売会社階級コード	卸売会社が規定する階級コード	各卸売会社独自	文字H	424	3		
3240			卸売会社原産地コード	卸売会社が規定する原産地(国・県)を表すコード	各卸売会社独自	文字H	427	3		

明細

表5 仕切情報メッセージ (3/3)

項番	階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	開始位置	最大バイト数	必須項目	妥当性検査 ( []内はエラーコード)	
3241	明細	拡張項目	出荷者品目コード	出荷者が規定する品目コード	各出荷者独自	文字H	430	7			
3242			出荷者品種コード	出荷者が規定する品種コード	各出荷者独自	文字H	437	7			
3243			出荷者等級コード	出荷者が規定する等級コード	各出荷者独自	文字H	444	3			
3244			出荷者階級コード	出荷者が規定する階級コード	各出荷者独自	文字H	447	3			
3245			出荷者原産地コード	出荷者が規定する原産地(国・県)を表すコード	各出荷者独自	文字H	450	3			
3246			予備					453	57		
3247			改行					510	2		
3301	識別項目	メッセージ種別	メッセージの種類を表す 固定 ・3:仕切情報メッセージ			数値U	0	1	必須	・3以外エラー[001]	
3302		レコード種別	レコードの種類を表す 固定 ・3:トレーラレコード			数値U	1	1	必須	・3以外エラー[002]	
3303	トレーラ	梱包数計	運賃計算の基礎となる梱包数の合計			数値S	2	6			
3304		口数計	明細レコードの口数の合計			数値S	8	6	必須	・明細レコードの口数の合計値以外エラー[013]	
3305		集荷運賃	明細レコードの集荷運賃の合計			数値S	14	8	必須	・明細レコードの集荷運賃の合計値以外エラー[013]	
3306		集荷運賃点数計	明細レコードの集荷運賃点数の合計			数値SF	22	6		・明細レコードの集荷運賃の合計値以外エラー[013]	
3307		集荷運賃計	明細レコードの集荷運賃の合計			数値S	28	10		・委託分の明細レコードの仕切金額の合計値以外エラー[013]	
3308		委託分金額計	委託分の仕切金額の合計(税抜)			数値S	38	10		・買付分の明細レコードの仕切金額の合計値以外エラー[013]	
3309		買付分金額計	買付分の仕切金額の合計(税抜)			数値S	48	10		・明細レコードの仕切金額の合計値以外エラー[013]	
3310		仕切金額計	仕切金額の合計(税抜)			数値S	58	10	必須		
3311		消費税額	消費税金額			数値S	68	10	必須		
3312		委託手数料	控除する卸売会社が受け取る委託手数料(税込)			数値S	78	10	必須		
3313	集配手数料	控除する集配手数料金額(税込)			数値S	88	10				
3314	通信費	控除するFAX・郵便等の通信費(税込)			数値S	98	10				
3315	集荷運賃計	控除する集荷運賃(税込)			数値S	108	10				
3316	その他控除	その他の控除金額(税込)			数値S	118	10				
3317	差引仕切計	仕切金額の合計から控除金額を引いた金額(税込)			数値S	128	10	必須	・仕切金額の合計から控除金額を引いた値以外エラー[013]		
3318	予備					138	372				
3319	改行					510	2				
<p>・必須項目が欠けている場合は、必須項目エラー[005]          ・可変レコード長で、最大バイト数を超えた項目は、項目長エラー[014]          ・固定レコード長で、レコード長が合わない場合は、レコード長エラー[015]          ・可変レコード長で、項目数が合わない場合は、項目数エラー[016]          ・レコードの並びが、ヘッダ・明細・トレーラでない場合は、データ構成エラー[017]          ・明細レコードが明細レコード番号順でない場合は、明細順序エラー[018]          ・メッセージ取扱種別が訂正または取消の場合は、訂正・取消対象となるデータが見つかからない場合は、対象データなしエラー[019]</p>											

表 6 データ型表

データ型名	説明	許容文字種						
		半角数字	半角英カナ記号	全角文字	半角ピリオド(.)	半角ブランク	半角ハイフン(-)	半角プラス(+)
数値S	符号付き数値	○	×	×	×	×	○	○
数値U	符号なし数値	○	×	×	×	×	×	×
数値SF	符号付き小数値	○	×	×	○	×	○	○
数値UF	符号なし小数値	○	×	×	○	×	×	×
文字Z	全半角すべて	○	○	○	○	○	○	○
文字H	半角すべて	○	○	×	○	○	○	○
文字S	半角数字	○	×	×	×	×	×	×
文字SK	半角数字と一部半角記号	○	×	×	×	○	○	×
文字D	YYYYMMDD形式の日付	○	×	×	×	×	×	×

表 7 エラーコード表

エラーコード	内容	エラーメッセージ
001	メッセージ種別エラー	指定されたメッセージ種別が正しくありません。
002	レコード種別エラー	指定されたレコード種別が正しくありません。
003	データ型文字種エラー	項目のデータ型で許容されていない文字が含まれています。
004	日付エラー	指定された文字列が有効な日付を表していません。
005	必須エラー	必須項目が指定されていません。
006	選択必須エラー	選択必須項目のどちらも指定されていません。
007	条件必須エラー	条件により必須となる項目が指定されていません。
008	数値符号エラー	数値の符号(正・負・0[ゼロ])が正しくありません。
009	入力値エラー	無効な値です。
010	日付範囲エラー	指定された日付が制限範囲を超えています。
011	計算エラー	レコード内での計算結果が一致しません。
012	コードエラー	指定されたコードが、コード表内に見つかりません。
013	集計エラー	各明細レコードの項目の合計と、トレーレコードの対応する合計項目の値が一致しません。
014	項目長エラー	項目の最大バイト数を超えています。
015	レコード長エラー	レコードのバイト数が正しくありません。
016	項目数エラー	レコードの項目数が正しくありません。
017	データ構成エラー	データの構成が、ヘッダ・明細・トレーの順に並んでいません。
018	明細順序エラー	明細レコードが明細レコード番号順に並んでいません。
019	対象データなしエラー	メッセージ取扱種別が訂正または取消ですが、その対象となるメッセージが見つかりません。
020	番号重複エラー	同一出荷日の同一送状番号または同一販売日の同一仕切書番号が存在します。

## 5 標準コード

花き EDI 標準フォーマットでは、コード類を一切利用しなくても EDI メッセージを作成することができるようになっていました。しかし、本当の意味の生産性向上を実現するには、やはり、メッセージの重要な部分はコード化されていることが望まれます。

次に掲げる情報項目には、誰もが利用できる標準コードがあります。

### 5.1 卸売会社コード

フロリスネット（系統 JA の花き EDI システム）の利用者で作るフロリスネット利用者協議会が、全国の花き卸売会社に重複しない 6 桁のコード番号（上 2 桁が都道府県コードになっている）を割り当てています。この卸売会社コードは、フロリスネット以前から各方面のシステムで活用されてきており、非常に普及度が高いものです。

花き EDI 標準フォーマットにおいてもそのまま採用し、他システムとの互換の利便を図っています。

### 5.2 系統 JA コード

出荷者が系統 JA の場合、統一的な農協コードが割り当てられています。フロリスネットではこれを、7 桁の県連コードと 10 桁の農協コードで表現します。

花き EDI 標準フォーマットは、必ずしもフロリスネットを利用しているような系統 JA 向けに用意されているわけではありませんが、そのような系統 JA が出荷者となった場合には、フロリスネットと全く同じ方法で系統 JA コードを表現します。

### 5.3 JF コード（品目コード、品種コード）

わが国で流通する花きの品種すべてにコード番号をつけ、そしてつけ続けるという、壮大かつ意義ある取り組みが始まったのは、1993 年のことです。登録されているコードは、2007 年現在約 70,000 件に達します。品種コードの正式名は日本花き取引コードですが、「JF コード」の通称が一般的です。現在、財団法人日本花普及センターに事務局をおく「日本花き取引コード普及促進協議会」が維持管理を担っていますが、実際に維持管理において中核的な役割を果たしているのが、社団法人日本花き卸売市場協会とその会員会社です。

花き EDI 標準フォーマットでは、この JF コードを積極的に活用していきます。JF コードとして公開されている 5 桁の JF 品目コードと 5 桁の JF 品種コードを利用します。ただし、花き EDI 標準フォーマットでは、JF 品種コードの先頭に半角数字の「00」を付け加え、7 桁にします。

JF 品目コード表は、表 8 と表 9 に掲げます。

JF 品種コード表は、膨大な数に上るため割愛します。

社団法人日本花き卸売市場協会の会員会社であれば、JF コードセンターの有料会員になることで、最新の JF コードがネットで入手できます。

#### 5.4 等階級コード

花きの等級と階級については、使いやすいコード表がなかったため、花き EDI 標準フォーマットの策定に併せて、新たなコード表を作成しました。今後、このコードを花き業界の標準として活用していきます。

#### 5.5 原産地コード

花きの原産地を表示する機会が増えています。特に輸入切花などでは重視されるようです。

花き EDI 標準フォーマットでは、すべての花きの原産地を表示できるよう、国産なら都道府県名、海外産なら国名を記述するフィールドを用意しています。これらに使用するコード表は JIS で規定されています。

都道府県コード： JIS X 0401 (数字 2 桁で表現)

例：北海道 01、青森県 02、岩手県 03、・・・

国名コード： JIS X 0304 (アルファベット 3 桁で表現)

例：アンドラ公国 AND、アイスランド共和国 ISL、・・・

桁数を合わせるため、花き EDI 標準フォーマットでは、都道府県コード 2 桁の頭に「0」を付け加えて 3 桁にして使用します。

表 8 JF 品目コード表 (1/2)

コード	品目名	コード	品目名	コード	品目名	コード	品目名
60080	アガパンサス	61280	ブプレウラム	64260	ウメ	66200	モクセイ
60090	アスチルベ	61290	ベニバナ	64270	うめもどき	66210	モクレン
60100	アイリス	61300	ホトギス	64300	エニシダ	66220	モミ
60110	アザミ	61310	ホビー	64310	エリカ	66230	モミジ
60120	アスター	61320	ホオズキ	64350	オオデマリ	66240	モモ
60130	アネモネ	61350	マーガレット	64400	カイドウ	66300	ヤシヤブシ
60140	アマリリス	61400	都忘れ	64410	カキ	66310	ヤツデ
60150	アリウム	61420	ハナムギ	64420	カクレミノ	66320	ヤナギ
60160	アルストロメリア	61430	モルセラ	64430	ガマ	66330	ヤマブキ
60170	アンズリウム	61450	ユウギリソウ	64440	カンキツ	66400	ユーカリ
60180	ウイキョウ	61460	ユーホルビア	64500	キイチゴ	66410	ユキヤナギ
60190	オーニソガラム	61500	ユリ エンチャント	64510	キフジ	66450	ライラック
60200	カーネーション	61510	ユリ 鹿子百合	64520	キリ	66500	リキュールバイ
60210	スプレーカーネ	61520	ユリ 新鉄砲百合	64530	キャラボク	66510	リョウブ
60220	ガーベラ	61530	ユリ 透百合	64540	ギョリュウバイ	66520	リンショウバイ
60230	カスミ草	61540	ユリ 鉄砲百合	64550	キンボウジュ	66600	レンギョ
60240	カラ	61550	ユリ 姫百合	64560	キンモクセイ	66650	ロウバイ
60250	カンパニュラ	61560	ユリ その他	64600	クロモジ	66900	その他切枝
60290	ミニカーネーション	61570	ユリ オリエンタル系HB	64610	クワ	70100	アサガオ
60300	菊	61580	ユリ(LA)	64650	コデマリ	70110	アザレア
60310	菊 2~3輪	61600	ラン キュラス	64700	サイプレス	70120	アジサイ
60320	スプレー菊	61610	ラン エビネ	64710	サカキ	70130	アスター
60330	コギク	61620	ラン オンシジウム	64720	サクラ	70140	アスパラガス
60340	キキョウ	61630	ラン カトレア	64730	サツキ	70150	アツザクラ
60350	金魚草	61640	ラン サギソウ	64740	サンキライ	70160	アナナス
60360	キンセンカ	61650	ラン シンビジウム	64750	サンシュ	70170	アヤメ
60380	サガ菊	61660	ラン デンドロビウム	64790	繻 くり	70180	アロエ
60400	グラジオラス	61670	ラン デンファレ	64800	シキビ	70190	アンズリウム
60410	クレマチス	61680	ラン ファレノプシス	64810	シヤクナゲ	70250	イワヒバ
60420	グロリオサ	61690	ラン その他	64850	スギ	70260	インパチェンス
60430	孔雀草	61800	リアトリス	64860	スモモ	70300	ウメ
60440	クルクマ	61810	リンドウ	64870	スモークツリー	70310	ウメモドキ
60450	けいとう	61830	レースフラワー	64890	しきみ くり	70350	エキザカム
60500	コスモス	61850	ローダンセ	64900	センリョウ	70360	エニシダ
60550	サルタン	61880	ワレモコウ	65150	そけい	70370	エリカ
60560	サンタンカ	61900	その他切花	65200	竹	70380	エレンダニカ
60570	サンダーソニア	62100	アスパラガス	65250	ツツジ	70450	オダマキ
60600	芍薬	62110	アワ	65260	ツノナス	70460	オリヅルラン
60700	スイセン	62150	オクラ	65270	ツバキ	70500	カーネーション
60710	ストイベー	62160	オモト	65280	ツルウメモドキ	70510	ガーベラ
60730	ストケシア	62200	カラジウム	65290	ツルムラサキ	70520	ガザニア
60740	ストック	62210	カンキツ	65350	トウガラシ	70530	カラ
60750	ストレリチア	62250	クロトン	65360	ドウダンツツジ	70540	カラジウム
60760	スターチス(1年生)	62300	ゴム	65370	トウモロコシ	70550	カラシコエ
60770	スターチス(宿根)	62350	サンセベリア	65380	ドラセナ	70560	カルセオリア
60780	スカビオサ	62400	シダ レザーファン	65450	ななかまど	70570	カルミア
60790	ソリタゴ	62410	シダ ゼンマイ	65460	ナンテン	70580	カンキツ
60800	ダリア	62420	シダ タニワタリ	65500	ヌリモノ	70650	キキョウ
60850	チュウリップ	62430	シダ その他	65550	野バラ	70660	キク・クッションマム
60860	チューペローズ	62470	シャガ	65600	ハクモクレン	70670	キク・ケンガイギク
60900	デージー	62500	スマイラックス	65610	ハゼ	70680	キク・ハマギク
60920	デルフィニューム	62600	ソテツ	65650	ヒイラギ	70690	キク・ボサギク
60930	テラクスパー	62650	ナルコユリ	65660	ヒバ	70700	キク・ポットマム
60950	とりかぶと	62700	ハラシ	65670	ヒメリンゴ	70710	キク・ユーゼンギク
60960	トルコ桔梗	62800	ペラルゴニウム	65680	ヒベリカム	70720	キク・その他
61100	なでしこ	62850	ミリオフィルム	65690	びしゃこ くり	70750	ギョリュウバイ
61110	葉の花	62900	モンステラ	65700	フウセンカズラ	70760	キンセンカ
61150	ハナショウブ	62950	ヤシ シュロ	65710	フジ	70800	クチナシ
61160	バラ	62960	ヤシ フェニックス	65720	フナ	70810	クモマグサ
61170	パラスプレー	62970	ヤシ その他	65850	ボケ	70820	クレマチス
61180	パンジー	63900	その他切葉	65900	マサキ	70830	グロキシニア
61190	パンパスグラス	64100	アオキ	65910	松	70840	クロッカス
61200	ヒオウギ	64110	アカシア	65920	マタタビ	70850	クロトン
61210	ひまわり	64120	アジサイ	65930	マンサク	70860	クンシラン
61250	フバルディア	64130	アセボ	65940	万両	70900	ケイトウ
61260	フリージア	64200	イブキ	66100	ミズキ	71100	コーヒーノキ
61270	ブルースター	64250	ウツギ	66150	ムラサキシキブ	71110	コケサンゴ

つづく

表 9 JF 品目コード表 (2/2)

コード	品目名	コード	品目名	コード	品目名	コード	品目名
71120	ゴム・ガジュマル	72380	ピラカンサス	74200	カイズカイブキ	84600	パンジー
71130	ゴム・ベンジャミン	72450	ブーゲンビリア	74250	サツキ	84610	ハボタン
71140	ゴム・その他	72460	フィロデンドロ	74300	タマイブキ	84650	ヒヤクニチソウ
71150	コリウス	72470	フクジュソウ	74350	ツゲ	84700	プリムラ
71160	コルムネア	72480	フバルディア	74360	ツツジ	84750	ペチュニア
71200	サギソウ	72490	ブライダルベール	74370	ツバキ	84800	マツバボタン
71210	サクラ	72500	フリージア	74400	ヒバ	84850	マリーゴールド
71220	サクラソウ	72510	プリムラ・オブユニカ	74450	マキ	84900	その他花き類苗物
71230	ザクロ	72520	プリムラ・シネシス	74500	マツ		
71240	サツキ	72530	プリムラ・ジュリアン	74550	モミジ		
71250	サボテン カニバ	72540	プリムラ・ボリアンサ	74900	その他花木		
71260	サボテン タニク	72550	プリムラ・マラコイデス	75100	アイリス		
71270	サボテン その他	72560	プリムラ・その他	75110	アマリリス		
71280	サルズベリ	72600	ブルーデージ	75150	カンナ		
71290	サルビア	72650	ベゴニア・センパー	75200	グラジオラス		
71300	サンセベリア	72660	ベゴニア・リーガー	75210	クロッカス		
71350	シクラメン	72670	ベゴニア・その他	75250	スイセン		
71360	シザンサス	72700	ペチュニア	75300	ダリア		
71370	シダ・アジアタム	72710	ヘデラ	75350	チューリップ		
71380	シダ・タニワタリ	72720	ペペロミア	75400	ヒアシンス		
71390	シダ・タマシダ	72730	ベラルゴニウム	75500	フリージア		
71400	シダ・その他	72740	ベルフラーウ	75600	ユリ・カノコユリ		
71410	シネリア	72800	ポインセチア	75610	ユリ・スカシユリ		
71420	シバザクラ	72810	ホオズキ	75620	ユリ・テップウユリ		
71430	シャクナゲ	72820	ホクシア	75630	ユリ・その他		
71440	シャクヤク	72830	ボケ	75900	その他球根		
71450	ジャスミン	72840	ボタン	76100	加工植物		
71460	ジンチョウゲ	72850	ボトス	76900	花きその他		
71500	スイートピー	72860	ホヤ	82100	米種子		
71510	スイセン	72870	ポローニア	82200	麦種子		
71520	スズラン	72880	ホンコン・カボック	82300	豆種子		
71550	ゼラニウム	73100	マコヤーナ	82400	穀類その他種子		
71560	セントポーリア	73110	マツ	82500	野菜種子		
71570	センニチソウ	73120	マリーゴールド	82510	種子ばれいしよ		
71600	ソテツ	73130	マランタ	82520	種子甘しよ		
71650	ダニア	73140	マンリョウ	82530	種子さといも		
71660	ダリア	73200	ミニカンヨウ	82600	花き類種子		
71700	チューリップ	73210	ミヤコワスレ	82900	その他種子		
71750	ツツジ	73250	ムラサキシキブ	82910	ハト麦種子		
71760	ツバキ	73300	モモ	82920	コンニャク種子		
71770	ツルムラサキ	73310	モンステラ	83100	カボチャ		
71800	デージー	73350	ヤシ・カンノンチク	83150	キュウリ		
71810	ディオネア	73360	ヤシ・フェニックス	83200	スイカ		
71820	ディフェンバキア	73370	ヤシ・その他	83250	トウガラシ		
71830	ディブラデニア	73450	ライラック	83300	トマト		
71840	ディモルフオセンカ	73460	ランタンキュラス	83350	ナス		
71900	トウガラシ	73470	ランタナ	83400	ネギ		
71910	トケイソウ	73480	ラン・エビキ	83450	パセリ		
71920	ドラセナ	73490	ラン・オンシジウム	83500	ピーマン		
71930	トラデスカンティア	73500	ラン・カトレア	83550	ヘチマ		
71940	トルコギキョウ	73510	ラン・シンビジウム	83600	レタス		
72100	ナス	73520	ラン・デンドロビウム	83900	その他果菜苗物		
72110	ナデシコ・セキチク	73530	ラン・デンファレ	84100	アサガオ		
72120	ナデシコ・その他	73540	ラン・パフィオペティルム	84110	アルメリア		
72150	ニチニチソウ	73550	ラン・ファレノプシス	84150	オジギソウ		
72200	バーベナ	73560	ラン・その他	84200	キク		
72210	ハイビスカス	73570	ラン・エビデンドラム	84210	キンセンカ		
72220	ハチス	73600	リンゴ・カイドウ	84250	サルビア		
72230	ハトス	73610	リンゴ・ヒメリンゴ	84300	シバザクラ		
72240	ハナキリン	73620	リンゴ・その他	84330	ストック		
72250	ハナショウブ	73630	リンドウ	84350	セキチク		
72260	ハビアーナ	73700	ルビナス	84400	チューリップ		
72270	ハボタン	73750	ローケア	84430	ストック		
72280	バラ	73800	ウスレナグサ	84450	デージー		
72350	ビレア	73900	その他鉢物	84480	ナデシコ		
72360	ヒアシンス	74100	イブキ	84500	ニチニチソウ		
72370	ヒメノボタン	74150	ウメ	84550	ハゲイトウ		

表 10 標準等級コード表

コード	等級名	等級カナ
000	(無等級)	(ナシ)
501	特級	トクキュウ
502	1級	1キユウ
503	2級	2キユウ
504	3級	3キユウ
505	4級	4キユウ
506	5級	5キユウ
507	6級	6キユウ
508	7級	7キユウ
509	特等	トクトウ
510	1等	1トウ
511	2等	2トウ
512	3等	3トウ
513	4等	4トウ
514	5等	5トウ
515	6等	6トウ
516	7等	7トウ
517	A	A
518	A 1	A1
519	A 2	A2
520	A A	AA

コード	等級名	等級カナ
521	A A A	AAA
522	B	B
523	B 1	B1
524	B 2	B2
525	B B	BB
526	B B B	BBB
527	A B	AB
528	C	C
529	D	D
530	E	E
531	F	F
532	秀	シュウ
533	秀優	シュウユウ
534	秀良	シュウリョウ
535	優	ユウ
536	優良	ユウリョウ
537	良	リョウ
538	可	カ
539	準	ジュン
540	特	トク
541	特上	トクジョウ

コード	等級名	等級カナ
542	特中	トクチュウ
543	上	ジョウ
544	上中	ジョウチュウ
545	中	チュウ
546	下	ゲ
547	特A	トクA
548	特秀	トクシュウ
549	特選	トクセン
550	〇	マル
551	〇A	マルA
552	〇B	マルB
553	〇秀	マルシュウ
554	〇優	マルユウ
555	並	ナミ
556	S P	スパー
557	E X	エクストラ
558	外	ガイ
559	別	ベツ
560	曲リ	マガリ
561	混合	コンゴウ

表 11 標準階級コード表

コード	階級名	階級カナ
000	(無階級)	(ナシ)
005	5cm	5cm
010	10cm	10cm
~	~	~
195	195cm	195cm
200	200cm	200cm
205	0.5m	0.5m
210	1m	1m
~	~	~
290	9m	9m
295	9.5m	9.5m
300	10m	10m
317	100~70cm	100-70cm
318	100~80cm	100-80cm
319	100~90cm	100-90cm
321	20~10cm	20-10cm
331	30~10cm	30-10cm
332	30~20cm	30-20cm
341	40~10cm	40-10cm
342	40~20cm	40-20cm
343	40~30cm	40-30cm
352	50~20cm	50-20cm
353	50~30cm	50-30cm
354	50~40cm	50-40cm
363	60~30cm	60-30cm
364	60~40cm	60-40cm
365	60~50cm	60-50cm

コード	階級名	階級カナ
374	70~40cm	70-40cm
375	70~50cm	70-50cm
376	70~60cm	70-60cm
385	80~50cm	80-50cm
386	80~60cm	80-60cm
387	80~70cm	80-70cm
396	90~60cm	90-60cm
397	90~70cm	90-70cm
398	90~80cm	90-80cm
401	5L	5L
402	4L	4L
403	3L	3L
404	2L	2L
405	L	L
406	M	M
407	S	S
408	2S	2S
409	3S	3S
410	4S	4S
411	5L~4L	5L-4L
412	5L~3L	5L-3L
413	4L~3L	4L-3L
414	4L~2L	4L-2L
415	3L~2L	3L-2L
416	3L~L	3L-L
417	2L~L	2L-L
418	2L~M	2L-M

コード	階級名	階級カナ
419	L~M	L-M
420	L~S	L-S
421	M~S	M-S
422	M~2S	M-2S
423	S~2S	S-2S
424	S~3S	S-3S
425	2S~3S	2S-3S
426	2S~4S	2S-4S
427	3S~4S	3S-4S
428	X X L	XXL
429	X L	XL
430	X S	XS
431	X X S	XXS
432	特大	トクダイ
433	大	ダイ
434	中	チュウ
435	小	ショウ
436	極小	ゴクショウ
437	極太	ゴクタイ
438	太	フト
439	細	ホソ
440	極細	ゴクホソ
441	長	チヨウ
442	短	タン
443	混合	コンゴウ

表 12 原産地コード表 (1/2) (都道府県コード)

コード	都道府県名	コード	都道府県名	コード	都道府県名	コード	都道府県名
001	北海道	013	東京都	025	滋賀県	037	香川県
002	青森県	014	神奈川県	026	京都府	038	愛媛県
003	岩手県	015	新潟県	027	大阪府	039	高知県
004	宮城県	016	富山県	028	兵庫県	040	福岡県
005	秋田県	017	石川県	029	奈良県	041	佐賀県
006	山形県	018	福井県	030	和歌山県	042	長崎県
007	福島県	019	山梨県	031	鳥取県	043	熊本県
008	茨城県	020	長野県	032	島根県	044	大分県
009	栃木県	021	岐阜県	033	岡山県	045	宮崎県
010	群馬県	022	静岡県	034	広島県	046	鹿児島県
011	埼玉県	023	愛知県	035	山口県	047	沖縄県
012	千葉県	024	三重県	036	徳島県		

JIS X 0401 (数字 2 桁) の頭に「0」を付け加えたもの。

表 13 原産地コード表 (2/2) (国名コード、和名 50 音順)

国名	記号	国名	記号	国名	記号	国名	記号
アンドラ公国	AND	クック諸島	COK	トーゴ共和国	TGO	ベリーズ	BLZ
アイスランド共和国	ISL	グリーンランド	GRL	トケラウ諸島	TKL	バレー共和国	PER
アイルランド	IRL	クリスマス島	CXR	ドミニカ共和国	DOM	ベルギー王国	BEL
アゼルバイジャン共和国	AZE	グルジア共和国	GEO	ドミニカ国	DMA	ポーランド共和国	POL
アフガニスタン・イスラム国	AFG	グレナダ	GRD	トリニダード・トバゴ共和国	TTO	ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国	BTH
アメリカ合衆国(米国)	USA	クロアチア共和国	HRV	トルクメニスタン	TKM	ボツワナ共和国	BWA
アラブ首長国連邦	ARE	ケイマン諸島	CYM	トルコ共和国	TUR	ボリビア共和国	BOL
アルジェリア民主人民共和国	DZA	ケニア共和国	KEN	トンガ王国	TON	ポルトガル共和国	PRT
アルゼンチン共和国	ARG	コートジボワール共和国	CIV	ナイジェリア連邦共和国	NGA	香港	HKG
アルバ	ABW	ココス諸島	CCK	ナウル共和国	NRU	ホンジュラス共和国	HND
アルバニア共和国	ALB	コスタリカ共和国	CRI	ナミビア共和国	NAM	マーシャル諸島共和国	MHL
アルメニア共和国	ARM	コモロ・イスラム連邦共和国	COM	南極地域	ATA	マイヨット島	MYT
アンギラ	AIA	コロンビア共和国	COL	ニウエ	NIU	マカオ	MAC
アンゴラ共和国	AGO	コンゴ共和国	COG	ニカラガ共和国	NIC	マケドニア	MKD
アンティグア・バーブダ	ATG	コンゴ民主共和国	COD	西サハラ	ESH	マダガスカル共和国	MDG
イエメン共和国	YEM	サウジアラビア王国	SAU	西サモア	WSM	マラウイ共和国	MWI
イスラエル国	ISR	サントメ・プリンシペ民主共和国	STP	ニジェール共和国	NER	マリ共和国	MLI
イタリア共和国	ITA	ザンビア共和国	ZMB	日本国	JPN	マルタ共和国	MLT
イラク共和国	IRQ	サンピエール島・ミクロン島	SPM	ニューカレドニア	NCL	マルチニーク島(フランス統治)	MTQ
イラン・イスラム共和国	IRN	サンマリノ共和国	SMR	ニュージーランド	NZL	マレーシア	MYR
インド	IND	シエラレオネ共和国	SLE	ネパール王国	NPL	ミクロナシア連邦	FSM
インドネシア共和国	IDN	ジブチ共和国	DJI	ノーフォーク島	NFK	南アフリカ共和国	ZAF
ウガンダ共和国	UGA	ジブラルタル	GBY	ノルウェー王国	NOT	南ジョージア島・南サンドイッチ島	SGS
ウクライナ	UKR	社会主義人民リベリア・アラブ国	LIB	バヌアツ諸島	BMU	ミャンマー連邦	MMR
ウズベキスタン共和国	UZB	ジャマイカ	JAM	バーレーン国	BHR	メキシコ合衆国	MEX
ウルグアイ東方共和国	URY	シリア・アラブ共和国	SYR	バキスタン・イスラム共和国	PAK	モザンビーク共和国	MOZ
英国=グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国	GBR	シンガポール共和国	SGP	バチカン市国	VAT	モーリタニア・イスラム共和国	MRT
英国領インド洋地域	IOT	ジンバブエ共和国	ZWE	パナマ共和国	PAN	モザンビーク共和国	MOZ
英国領バージン諸島	VGB	スイス連邦	CHE	パナマ共和国	PAN	モナコ公国	MCO
エクアドル共和国	ECU	スウェーデン王国	SWE	バヌアツ共和国	VUT	モルデヴィウ共和国	MDV
エジプト・アラブ共和国	EGY	スーダン共和国	SDN	バハマ国	BHS	モルドバ共和国	MDA
エストニア共和国	EST	スバルバル諸島・ヤンマイエン島	SJM	バプアニューギニア	PNG	モロッコ王国	MAR
エチオピア連邦民主共和国	ETH	スペイン	ESP	パラグアイ共和国	PRY	モンゴル国	MNG
エリトリア国	ERI	スリナム共和国	SUR	バルバドス	BRB	モントセラト(英国統治)	MSR
エルサルバドル共和国	SLV	スリランカ民主社会主義共和国	LKA	ハンガリー共和国	HUN	ユーゴスラビア連邦共和国	YUG
オーストラリア	AUS	スロバキア共和国	SVK	バングラデシュ人民共和国	BGD	ヨルダン・ハシミテ王国	JOR
オーストリア共和国	AUT	スロベニア共和国	SVN	東チモール	TMP	ラオス人民民主共和国	LAO
オマーン国	OMN	スワジランド王国	SWZ	ビトケアン島	PCN	ラトビア共和国	LVA
オランダ王国	NLD	セイシェル共和国	SYC	フィジー共和国	FJI	リトアニア共和国	LTU
オランダ領アンチル	ANT	赤道ギニア共和国	GNQ	フィリピン共和国	PHL	リヒテンシュタイン公国	LIE
カーナチ共和国	GHA	セネガル共和国	SEN	フィンランド共和国	FIN	リベリア共和国	LBR
カーボベルデ共和国	CPV	セントクリストファー・ネイビス	KNA	ブータン王国	BTN	ルーマニア	ROM
ガイアナ協同共和国	GUY	セントビンセントおよびグレナディーン諸島	VCT	ブーベ島	BVT	ルクセンブルク大公国	LUX
カザフスタン共和国	KAZ	セントヘレナ島	SHN	プエルトリコ	PRI	ルワンダ共和国	RWA
カタール国	QAT	セントルシア	LCA	フェロ諸島	FRO	レソト王国	LSO
カナダ	CAN	セントルシア	LCA	フォークランド(マルビナス)諸島	FLK	レバノン共和国	LBN
ガボン共和国	GAB	ソマリア民主共和国	SOM	ブラジル連邦共和国	BRA	レユニオン	REU
カメルーン共和国	CMR	ソロモン諸島	SLB	フランス共和国	FRA	ロシア連邦	RUS
ガンビア共和国	GMB	タークス諸島・カイコス諸島	TCA	フランス領ギアナ	GUF	ワリス・フテユナ諸島	WLF
カンボジア王国	KHM	タイ王国	THA	フランス領ポリネシア	PYF		
朝鮮民主主義人民共和国	PRK	大韓民国	KOR	フランス領南諸島	ATF		
北マリアナ諸島	MNP	台湾	TWN	ブルガリア共和国	BGR		
ギニアビサウ共和国	GNB	タジキスタン共和国	TJK	ブルキナファソ	BFA		
ギニア共和国	GIN	タンザニア連合共和国	TZA	ブルネイ・ダルサラーム国	BRN		
キプロス共和国	CYP	チェコ共和国	CZE	ブルンジ共和国	BDI		
キューバ共和国	CUB	チャド共和国	TCO	ヘアド島・マクドナルド諸島	HMD		
ギリシャ共和国	GRC	中央アフリカ共和国	CAF	米国領サモア	ASM		
ギリバス共和国	KIR	中華人民共和国	CHN	米国領太平洋諸島	UMI		
キルギスタン共和国	KGZ	チュニジア共和国	TUN	米国領バージン諸島	VIR		
グアテマラ共和国	GTM	チリ共和国	CHL	ベトナム社会主義共和国	VNM		
グアドループ島	GLP	ツバル	TUV	ベナン共和国	BEN		
グアム	GUM	デンマーク王国	DNK	ベネズエラ共和国	VEN		
クウェート国	KWT	ドイツ連邦共和国	DEU	ベラルーシ	BLR		

## 6 独自コード

### 6.1 出荷者コード

個人生産者を含む全国の花きの出荷者に、統一的なコード番号を割り当てるのは非常に困難で、標準化およびその維持管理は事実上不可能です。

花き EDI 標準フォーマットでは、出荷者コードは、5.2 項の系統 JA コードを持っている出荷者を除き、卸売会社が割り当てることになっています。その際、統一化を意識する必要はなく、各卸売会社固有の出荷者コードを割り当ててかまいません。卸売会社はその出荷者コードを出荷者本人に通知します。

この方法は、出荷者にとって望ましくないように思えます。なぜなら、複数の卸売会社と取引する出荷者は、卸売会社ごとに個別に連絡を取り、それぞれに異なる自分の出荷者コード（その卸売会社が自分を何と呼んでいるか）をすべて知る必要があるからです。そして、出荷する相手ごとに EDI メッセージ中に出荷者コードを使い分けなければなりません。

一見不都合に思える方式ですが、実際に EDI を実現する段になると、さして困難ではないことに気づきます。

出荷者が、卸売会社から出荷者コードを聞き出さなければならないのは、EDI を開始する最初の 1 回だけです。また、もとより卸売会社コードは必ず相手ごとに使い分けなければならないのですから、それに連動させて出荷者コードも使い分ければ、実装は容易でしょう。

卸売会社側でも、一度割り当てた出荷者コードを変更することは、頻度が低いと考えられるので、維持管理には好都合です。

### 6.2 その他の独自コード（拡張項目）

花き EDI 標準フォーマットでは、独自コードを極力排し標準コードだけに合わせていく、という考え方はしていません。むしろ、独自コードも活用の余地があれば積極的に活用していくという考え方を採っています。それは、明細レコードに拡張項目として、独自コードを埋め込める部分を用意した点に表れています。

独自コードを相手に伝えるということは、そのコードが相手にとって意味のないものであっても、必ずしもむだなことではありません。

理由は以下の 2 点です。

#### ① 相手の利便性向上

相手から独自コードをもらおうと、たとえば卸売会社が仕切情報を返すとき、出荷者の独自コードを埋めてあげることができます。それにより、出荷者の重要な業務の 1 つである照合の効率が改善します。同様に、出荷者が、卸売会社の独自コードが入った仕切情報を再利用して出荷情報を作成すると、出荷情報に卸売会社の独自コードを埋めてあげることができ、卸売会社の荷受の効率が向上します。

## ② コード変換表への発展

日常的な EDI の中で独自コードをやり取りするうちに、名称などを手がかりに、お互いの独自コード同士の変換表を作ることができるようになります。変換表があると、標準コードを利用できない場合でも EDI の効率を向上させることができます。

どちらも、事務処理ソフトウェアに比較的高度な処理が要求されるため、誰もが実現できるしくみではありませんが、特定の出荷者と卸売会社の組み合わせに限れば、実現性は高いと考えられます。

花き EDI 標準フォーマットを利用する際は、拡張項目の独自コード部分を備忘録代わりに埋め込んでおくとい良いでしょう。